



防衛施設と地域社会の調和を図る施策 ～沖縄防衛局における補助事業について～

防衛施設の安定的な運用には、地域の方々のご理解とご協力が何より重要です。そのため、沖縄防衛局では、周辺地域の方々がかぶる騒音などの不利益の是正や、施設と地域社会の共存・共生の観点から、様々な形で地域社会との調和に努めています。

今回は、その施策に基づき実施した事業の一部を紹介いたします。



【再編推進事業補助金】

【沖縄アリーナ(沖縄市)】

米軍再編の実施に向けた施設整備の円滑な実施にご理解とご協力をいただいている沖縄市に対し、再編推進事業補助金を初めて活用し「沖縄アリーナ」を整備しました。

目次

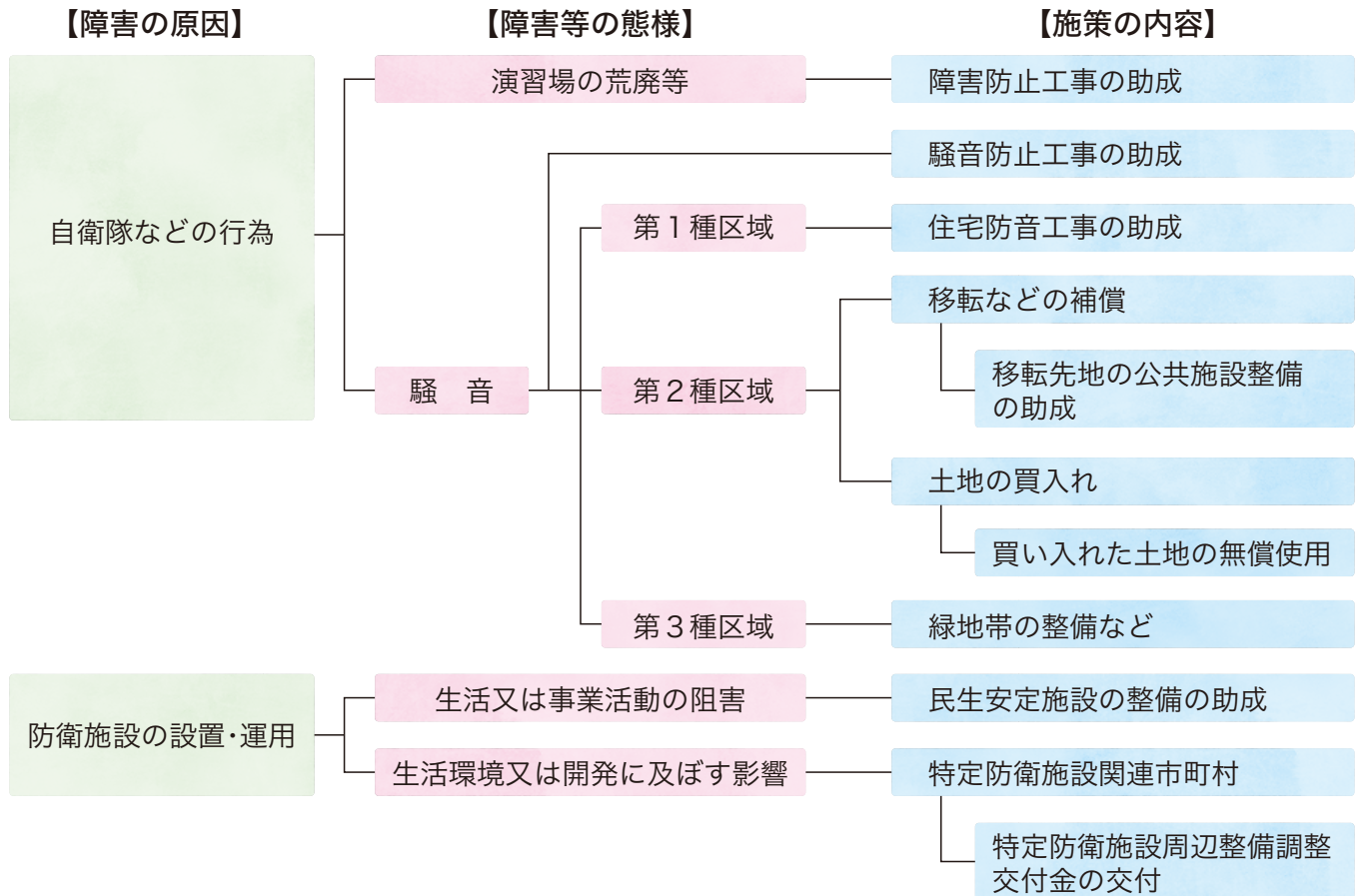
CONTENTS

◆沖縄防衛局における防衛施設と地域社会の調和を図る施策 …… 2	◆再編交付金 …… 8
◆障害防止工事の助成(一般障害防止) …… 3	◆防衛施設周辺整備統合事業 …… 9
◆騒音防止工事の助成(一般防音) …… 4	◆まちづくり支援事業 …… 10
◆民生安定施設の助成 …… 5	◆住宅防音工事の助成・移転などの補償 …… 11
◆道路改修等事業 …… 6	◆再編推進事業補助金 …… 12
◆特定防衛施設周辺整備調整交付金 …… 7	

沖縄防衛局における防衛施設と地域社会の調和を図る施策

沖縄防衛局では、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(昭和49年法律第101号)」及び「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法(平成19年法律第67号)」等に基づく、各種の施策を行い、防衛施設と周辺地域との調和を図るよう努めています。

「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」による施策



「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」による施策

再編交付金事業は「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定に基づき、駐留軍等の再編による住民の生活の安定に及ぼす影響の増加する市町村に対し、住民生活の利便性の向上・産業振興に寄与する事業に交付金を交付しております。

※()は指定告示日

再編関連特定防衛施設	再編関連特定周辺市町村
キャンプ・シュワブ (平.19.10.31)	名護市 (平.20.3.31) 宜野座村 (平.20.3.31)
キャンプ・ハンセン (平.19.10.31)	恩納村 (平.19.11.19) 宜野座村 (平.19.11.19) 金武町 (平.19.11.19)
那覇港湾施設代替施設 (平.19.10.31)	浦添市 (平.19.10.31)
トリイ通信施設 (平.27.12.10)	読谷村 (平.27.12.10)
嘉手納弾薬庫地区 (平.28.11.1)	沖縄市 (平.28.11.1)

障害防止工事の助成（一般障害防止）

概要

障害防止対策事業（一般障害防止）は、自衛隊や駐留米軍の活動による演習場内の荒廃等に起因し、周辺地域に障害を与えている場合において、これら障害を防止又は軽減するため、河川改修や砂防堰堤を設ける等の障害防止工事を行う地方公共団体等に対し、助成を行うものです。

事例紹介

【名護市】数久田ダム（用水対策） 補助額：約53億円（令和2年3月竣工）



【周辺住民の声】

- 轟川の河川流量が減少していたことで、当河川から取水し農業を営んでいた数久田地区の農業従事者は用水不足の障害を受けておりましたが、ダム建設によって農業用水を安定供給できるようになり、数久田地区の営農を継続することができています。
- 農業ダムが完成したことで、土地改良区への通路が整備され、集落内からの移動が便利になりました。
- 農業ダムが完成し、畑への灌漑配水事業も実施されたことで、農家にとって今後の農業生産に向けていろいろ取り組むことができ良かったと思います。

【恩納村】安富祖ダム（洪水対策） 補助額：約98億円（令和3年11月竣工）



当時の当局担当者の声

令和3年度に当事業を担当しておりました、企画部周辺環境整備課の山崎です。
地域住民の皆様が期待を寄せ、多くの歳月をかけて進められてきた本施設の整備に従事させて頂いたことを嬉しく思います。無事竣工を迎えた本施設が、今後、長きに渡って周辺地域の安定に寄与することを願っております。



騒音防止工事の助成（一般防音）

概要

在日米軍の航空機による騒音の障害を防止又は軽減するため、学校や保育園など施設に対する防音工事に助成を行っています。

事例紹介

わかたけ北保育園（沖縄県読谷村在） 補助額：約37百万円（令和2年3月竣工）



保育園の新築工事にあわせて防音サッシ、除湿・換気設備などの工事を行いました。

【補助事業者の声】



わかたけ北保育園
比嘉智子園長

本園は、公立保育所の運営を引き継ぐ形で「わかたけ北保育園」としてスタートしました。スタートに先立ち、園舎の新築工事とあわせて行った防音工事のため沖縄防衛局と協議を重ね、令和2年3月に無事新しい園舎が完成しました。

新築した本園の敷地内には2本の大きなガジュマルの木があり、それは長い年月、子どもたちや地域を見守り、愛されてきました。新しい園舎は、その人々の記憶に残るガジュマルをシンボルツリーとして望むことができるよう配置しました。エントランスを抜けると、大きなアマハジ（ひさし）が来訪者を出迎え、優しい風が流れます。若竹色をした芝生の庭を取り囲む楕円状の軒が広がりを感じさせ、自然との一体感を感じることができます。

防音工事では、防音サッシだけではなく、除湿設備、換気設備、吸音性の高い内装材の工事などが行われ、園舎内では飛行機などの騒音の影響を受けにくく、季節を問わず快適な保育を行える環境が整いました。

このような素晴らしい新園舎ができたことを大変嬉しく思っています。これからもこの場所で、たくさん子どもたちの笑い声が響き渡ることを願っています。

当局担当者の声

企画部防音対策課の玉城です。今回、防音工事を行った施設の利用者からの喜びの声を直に聞くことができ、とてもやりがいを感じております。

当課では、学校や保育園などの対象施設に対して航空機騒音による障害を防止又は軽減するため、既存の施設を防音仕様の建物に模様替えする改造工事や防音工事实施後に防音サッシや空調機器の機能が低下したものを取替する機能復旧工事などの助成を行っています。今後も施設の利用者の方々がより快適な環境で施設を利用していただけるよう引き続き業務に取り組んでまいります。

民生安定施設の助成

概要

民生安定施設の助成事業は、防衛施設の設置又は運用によりその周辺地域の住民の生活又は事業活動が阻害されると認められる場合において、その障害の緩和に資するための生活環境施設又は事業経営の安定に寄与する施設の整備を実施する地方公共団体に対し、助成するものです。

事例紹介

【名護市】屋部地区コミュニティ供用施設 補助額:約2億7千万円(令和5年3月供用開始)



【自治体担当者の声(名護市役所 地域経済部 屋部支所 地域振興係 大城 様)】

ここ数年は、旧屋部支所の老朽化により支所の利用ができず、各公民館で地域団体のイベント等を行っていましたが、屋部地区センターが完成したことで、設備の整った施設で活動できるようになりました。地域における新たな活動拠点になると感じています。

また、学習スペースや児童室などは日々開放されており、放課後は子どもたちで賑わい、「子どもの居場所として、子育てをする上でも、とても利用しやすい施設です。」などの声をいただいております。

【沖縄県】糸満漁港・水産物加工施設 補助額:約1億9千万円(令和5年1月完成)



【利用者の声(間接補助事業者:沖縄県漁業協同組合連合会関係者)】

本施設が整備されたことにより、以前に比べ、加工ブースの機能が向上し、漁業者の加工処理の効率も上昇しており、利便性が考慮された設計になっていると感じています。また、本施設は、隣接する高度衛生管理型荷捌施設で水揚げされた高鮮度な水産物を計画的に処理することができ、衛生管理の観点からも安全・安心に使用できる施設だと感じております。

道路改修等事業

概要

道路改修等事業は、自衛隊等の行為又は防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を防止するため、地方公共団体が道路について必要な工事を行うときに、予算の範囲内において、その費用の全部又は一部を補助することができます。

事例紹介

【与那国町】樽舞1号線外2 補助額:約4億3千万円(令和5年3月一部完成)



「樽舞1号線外2」は、与那国駐屯地の運用により、自衛隊車両による離合困難及び歩行者危険解消のため拡幅工事を行いました。

【宜野湾市】市道宜野湾11号線 補助額:約29億5千万円(令和3年3月全線開通)



【利用者の声(宜野湾市において実施したアンケート結果抜粋)】

- 国道330号の渋滞緩和に繋がり、さらに、宜野湾市真栄原付近から宜野湾市上原までに係る移動時間が短縮され、とても便利になってます。ありがとうございました。
- 歩道の整備により、昼夜問わずウォーキングやランニングを行うことができるようになりました。安全に運動ができ、健康作りにも一役買ってます。

などの声を皆様からいただいており、完成後のアンケート結果でも、7割以上の方から大変満足をしているとの回答をいただいております。

特定防衛施設周辺整備調整交付金

概要

特定防衛施設周辺整備調整交付金は、自衛隊等のジェット機が離発着する飛行場及び砲撃などが行われている演習場など、特にその周辺の生活環境や地域開発に影響を受けている市町村の公共用施設の整備(ハード事業)又はその他の生活環境の改善若しくは開発の円滑な実施に寄与する事業(ソフト事業)に対し交付金を交付するものです。

沖縄防衛局管内における特定防衛施設は北部訓練場はじめ14施設、特定防衛施設関連市町村は国頭村はじめ18市町村となっています。

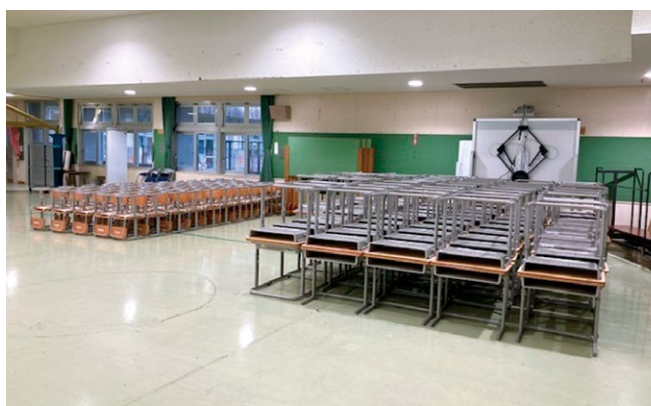
事例紹介



【沖縄市】消防ポンプ自動車購入
交付額:約58百万円



【宜野湾市】環境衛生施設維持運営事業
交付額:約38百万円



【嘉手納町】嘉手納町立学校備品購入
交付額:約5百万円



【浦添市】学校給食調理場消毒保管庫等備品購入
交付額:約31百万円



嘉手納町教育委員会
教育総務課 比嘉 様

【自治体担当者の声(嘉手納町立学校備品購入:嘉手納町)】

当該事業で、老朽化した児童生徒用の机及び椅子の更新をおこなうことにより、快適な授業運用が確保され、教育環境の改善を図ることができました。

また、「安全面において心配がなくなった」、「学習に集中できている」、「大切に扱おうという気持ちが芽生えている」などのご意見が寄せられており、児童生徒の意識の向上も見られ、大変嬉しく思っています。今後も、町民の皆様喜んでいただけるよう、引き続き実施していきたいと思っております。

再編交付金

概要

再編交付金は、駐留軍等の再編による住民の生活の安定に及ぼす影響の増加する市町村に対し、住民生活の利便性の向上・産業振興に寄与する事業に交付金を交付するものです。

事例紹介



【名護市】学校給食事業【基金】
これまでの基金造成額：約14億49百万円



【金武町】デジタルサイネージ設置事業
交付額：約55百万円



【浦添市】高規格救急自動車購入事業【基金】
これまでの基金造成額：約1億8千万円



【宜野座村】塵芥収集車購入事業
交付額：約8百万円



名護市教育委員会
総務課 山川 様

【自治体担当者の声(学校給食事業:名護市)】

当該事業で、教育活動の一環である学校給食の無償化を行うことにより、園児・児童・生徒の食に関する正しい理解と望ましい食習慣を養うとともに、学校給食のより一層の充実が図られております。

また、市民の皆様からは「経済的負担が軽減された。」などのご意見が寄せられている他、旬の食材や地域の食材を活用した献立も好評を得ており、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるまちづくりに寄与していると思っております。今後も、引き続き実施していきたいと思っております。

防衛施設周辺整備統合事業

概要

統合事業は、障害防止事業や民生安定事業の複数の整備事業を一括して行う事業で、自治体の裁量的施行を促進し、これまで以上に地域の実情に応じた細やかな事業の実施が可能な制度となっております。

事例紹介

【宜野湾市】長田地区コミュニティ供用施設・長田地区児童館 補助額：約2億9千万円（平成28年度完成）



【自治体担当者の声（宜野湾市役所 市民経済部市民協働課 市民協働係 大湾 様）】

「これまで長田小学校を活用することの多かった敬老会などの各種イベントやサークル活動が公民館で行えるようになり、以前より参加者も増えております。」などのお声をいただき、地域活動が活発化していることに地域住民の方々は非常に喜んでおります。また、各所にバリアフリー化が施されており、子供からお年寄りまでとても利用しやすい施設だと感じています。

【うるま市】川崎公園 補助額：約3億6千万円（平成30年度完成）



【自治体担当者の声（うるま市役所 都市建設部公園整備課 公園係 喜瀬 様）】

本公園が整備されてから、秋祭り等の多世代が交流する地域行事が定期的に行われるなど、以前に比べ地域が活気付いていると実感しています。また、老人会のグランドゴルフや保育園児の遠足、健康づくりのためのウォーキング等で活用されており、地域住民の方々からは「大変利用しやすい公園になりました。」などのお声をいただき、非常に喜ばれております。

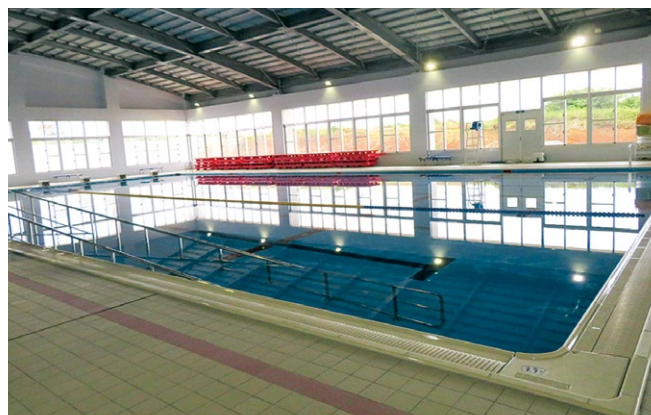
まちづくり支援事業

概要

まちづくり支援事業等は、地方公共団体が、住民の需要及び防衛施設の存在、自然環境、歴史、文化等の地域の特性を踏まえつつ、施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその費用の一部を補助し、防衛施設の存在に対する住民の理解を深めることで、防衛施設とその周辺地域との調和を図るものです。

事例紹介

【伊江村】伊江島補助飛行場周辺まちづくり支援事業 補助額:約28億7千万円 ※事業継続中



【自治体担当者の声(伊江村教育委員会 スポーツ推進室 担当者様)】

伊江村内の体育施設は老朽化が著しかったが、本施設が整備されたことにより、利用者が増加し、村民の憩いの場として子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人々に利活用され、年代を超えて交流が深まりました。また、以前に比べ、伊江村外からの利用者と交流する機会が多くなり、より一層、村内在が活気づいたと実感しています。

【那覇市】那覇港湾施設等周辺まちづくり支援事業 補助額:約49億1千万円 (平成22年4月4日開場)



当局担当者の声

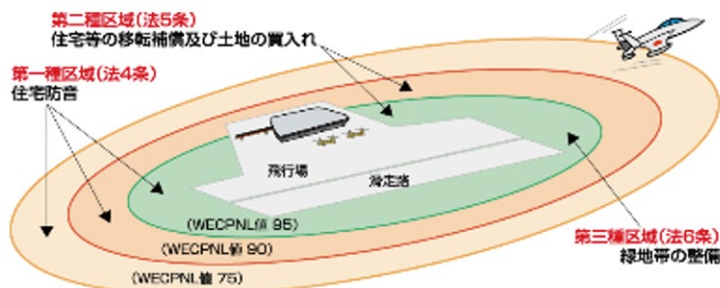
企画部周辺環境整備課の比嘉です。本施設は平成21年度に完成してから現在まで、沖縄県民のみならず、多くの方に本施設を利用いただき、とても嬉しく思います。今後も、交流施設・健康増進施設・憩いの場として沖縄県民のほか、多くの方に利活用されることを願っております。



住宅防音工事の助成

概要

住宅防音工事の助成事業とは、住宅防音工事の対象区域(第一種区域)内に、指定される以前から所在している住宅の所有者が、航空機騒音による障害を防止し、または軽減するために行う防音工事に対して、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第4条に基づき行われる補助事業です。



※WECPNLとは「Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level」(加重等価継続感覚騒音レベル)のことで、音響の強度(dB)、頻度、発生時間などの諸要素により、騒音の総量を1日の平均として総合的に評価したものです。

工事種別

ア 防音工事:

住宅に防音建具及び空気調和機器(エアコン)等を取り付け、遮音、吸音及び空気調和機能を付加する工事。(補助率10/10)

イ 防音建具機能復旧工事:

防音工事を実施した住宅のうち、工事完了後10年以上が経過し、機能が低下した防音建具について取り替えを行う工事。(補助率10/10)

ウ 空気調和機器機能復旧工事:

防音工事を実施した住宅のうち、工事完了後10年以上が経過し、機能が低下したエアコン等について取り替えを行う工事。(補助率9/10(生活保護世帯は10/10))

補助額の実績

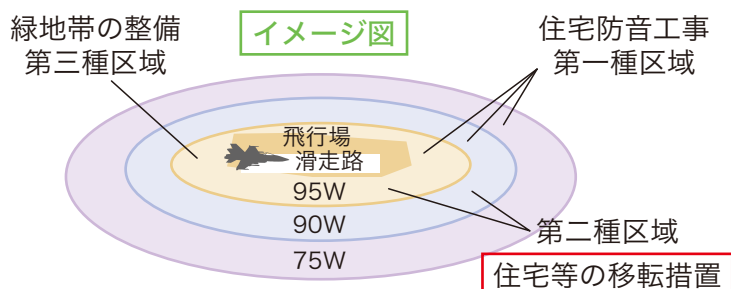
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施世帯数	6,667世帯	8,443世帯	7,453世帯	6,783世帯	※7,052世帯
交付額(千円)	13,029,148	14,009,855	13,163,619	13,841,095	※12,884,648

※ 令和5年度1次予算分

移転などの補償

概要

航空機の離着陸等の頻繁な実施により生ずる音響に起因するその障害が特に著しいと認め防衛大臣が指定した区域(第二種区域)内で、当該区域が指定された際に所在する建物等を区域外に移転することを希望される方に対して移転補償や土地の買入れを行います。



移転前建物

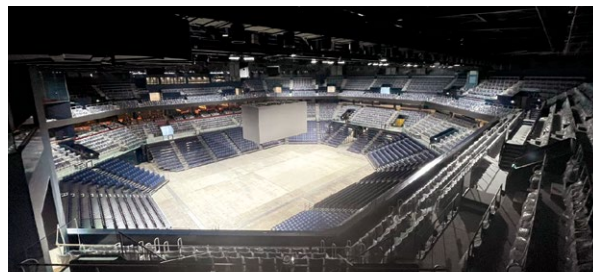


移転後建物

再編推進事業補助金

概要

駐留軍等の再編の実施に向けた措置の推進を図り、駐留軍等の再編を的確かつ迅速に実施することの重要性に鑑み、再編関連特定周辺市町村が行う施設の整備について特別な措置を講じ、もって駐留軍等の再編の円滑な実施に資することを目的とするものです。



【沖縄市】多目的アリーナ整備助成事業
補助額:約152億円
(本体:令和3年2月竣工、駐車場:一部工事中)

【自治体担当者の声】



沖縄市役所 企画部
プロジェクト推進室
副技幹 新垣 様

沖縄アリーナは防衛省及び内閣府の補助を受け、平成30年8月に工事着手し、令和3年2月に完成いたしました。本施設では、沖縄市をホームタウンとするプロバスケットボールチームの試合や、国内外の有名アーティストによるコンサートをはじめ、沖縄の伝統芸能エイサーや沖縄出身アーティストによる音楽ライブといった地域の催しなどが行われております。

利用者の方々からは「これまで県外に行かないと観ることができなかったイベントが沖縄で開催されるようになりうれしい。」「いろいろなイベントが開催され沖縄市へも訪れることが多くなりました。」「はたちの集いを沖縄アリーナで行うことができるとてもよかったです。」などといった声もいただいているところです。

今後は避難場所としての指定も予定しており、様々な利用方法でもっと地域の皆様のために活用されていくものと考えております。沖縄アリーナが沖縄市の地域活性化の起爆剤となり、ひいては沖縄県の観光振興に寄与できるよう努めてまいりたいと思います。



当局担当者の声

今年度から再編推進事業で沖縄市を担当することとなりました、企画部施設対策計画課の仲松です。

沖縄アリーナは地域活性化に大きく期待されている施設であり、その事業に携われることを非常に嬉しく思っています。本施設へは、プロバスケットボールの試合だけではなく、様々なアーティストのライブイベントにもプライベートで参加し、一県民として、沖縄県の盛り上がりを感じることができました。

今後とも、様々な事業における地域の活性化にお力添えができるよう業務に取り組んでまいります。